



你吃飽了???

(もう飯食ったか? = 元気? 調子はどう?)

にっぽおらんっ
うっっっ

台湾高雄日本人学校 佐藤淳一

何から話せばいいのかわからないまま時は流れて、浮かんでは消えてゆくありふれた言葉だけ…。皆さんこんにちはは好久不見了!(はお〜じょ〜ぶ〜ちいえんら〜=お久しぶりです) 台湾でございます。

さて、私が勤務する台湾高雄日本人学校の近況について1年ぶりの報告をさせていただきます。今年度も濃く、エキサイティングで長〜い日々が続いておりましたが、夏休みに入り、さらに濃縮された校舎移転のお時間がやってまいりました…。校舎の老朽化及び土地契約上の諸問題から、長いこと本校では懸案事項とされてきた校舎移転…。ついに休み明けの9月1日より現地の小学校(1600人規模の学校です)の一部を間借りしての授業が開始となります。校舎移転に関わっては時間割、教育課程の一部見直し、教職員の配置変更、登下校の時間や体育のグラウンド使用(お金がかかります)、給食の選択制導入、その他危機管理面など問題は山積しています。そして、移転前の現校舎には、山のような荷物が積み重なっています。学校の引っ越しは…とって〜も大変ですね。(笑)。こんな時は、教職員の絆=『学校力』が試されます!



昨年度赴任した私は「日本人学校は日本に比べ、現地校との交流や講演、演奏会など行事が多い」という印象を持ちました。特に中学部の場合は2月の下旬に卒業式が行われることもあり、かなりタイトな年間行事が組まれていると思います。それに加え今年度は、移転後に行えるかどうかかわからない行事はすべて旧1学期に組み込まれていたこともあり、我々教職員は「日々の疲れた体を癒す」という理由をつけて、ちょっと一杯…。本音トークを交え、台湾ビールと臭豆腐をおいしくいただく夜が多かったように感じます。

4月学級開き→中学部の修学旅行(5月中旬、政権崩壊直後のタイへ…)→運動会(6月中旬)→水泳記録会、校舎お別れ会(7月)…完全下校となるため放課後の活動はできません。お弁当を頬袋に詰め込み、昼休みを削りに削っての活動が続きましたが、どの行事においても児童生徒の頑張りが高雄のまぶしい太陽のようにキラキラと輝いていたのが印象的でした。

運動会は、雨により2日間延期。「もう1日雨なら中止…」という状況でした。実は、私の受け持つ学級に、この次の日アメリカのテネシー州へ転出をする『応援団長』がおり、3日目の朝には生徒全員が祈るような思いで曇天を見上げながら登校…。30分後、突如現れた火の玉。皮膚が焼けるほどの日差しを浴び、運動会は無事に挙行されました。だくだくの汗とべろべろの涙にまみれた若者たちがそこにはいました。

40年間使われ続けてきた旧校舎での行事には頭にすべて「最後」という言葉が付き、保護者の皆様、生徒児童にも特別の想いがあったように思われます。特に印象的だった終業式後の「校舎お別れ会」。数多くの卒業生や旧職員のみなさんが来校され同窓会さながらの様子。日本からいらした方も多く、校舎のあちらこちらで涙あり笑いあり…。懐かしのタイムカプセルを掘り起こす様子も見られました。



←さて最後は、40年の歴史に花を添える水泳記録会での一コマをご紹介します。毎年恒例、教職員 VS 児童生徒による真剣勝負のモデルリレーです。住む国に大雪が降らなくても、年をとっても、求められる役割は変わらないようです。第2の故郷、台湾高雄の地で数々の貴重な体験をさせていただいていることに感謝…。

次号は、担当したタイへの修学旅行報告をさせていただく予定です。来年の夏にまた会いましょう。(←冗談です…) 再見!